

「スーパージュニア選手育成プログラム2023」 特別プログラム（東京遠征研修）

「スーパージュニア選手育成プログラム2023—体験プログラム—」に参加した選手が、日本代表選手が合宿・練習する施設等の視察研修を通して、将来のスポーツ活動の目標を決める参考となり、国民スポーツ大会の広島県代表やオリンピック出場を目指すアスリートに育つことを期待して、令和6年3月23日(土)から24日(日)の1泊2日の日程で特別プログラムを実施しました。

今回は、6回の体験プログラムとファイナルトライアルに参加した6年生男女5名とその保護者が参加しました。3月23日(土)、朝9時30分に広島駅に集合し、東京へ向けて出発です。計7回のプログラムを経験した仲間同士、新幹線の中では話が弾んでいました。

東京駅到着後、大田区総合体育館に向かいました。

ここでは、バレーボールVリーグのクォーターファイナル（JTサンダーズ広島VS日本製鉄堺ブレイザーズ）を観戦しました。広島県の実業団チームのJTサンダーズ広島をしっかりと応援しました。



試合は、4セット目に突入し、接戦でしたが、最後まで諦めずに戦い抜き勝利することができました。とてもハラハラ、ドキドキな場面も沢山あり、とても勉強になったのではないのでしょうか。

その後は、浅草やスカイツリーなど、東京を感じる時間となりました。各親子がそれぞれに自由時間を満喫しました。



3月24日(日)、味の素ナショナルトレーニングセンターに向かいました。今回見学した施設は、屋内トレーニングセンター・イースト（東館）でした。

水泳、卓球、フェンシング、アーチェリー、ライフル射撃など、日本代表選手などが合宿・練習する各競技施設を見学しました。実際に代表選手が練習中の施設を見ることもできました。



また、高さや速さを体感できる展示もあり、子供たちは、想像以上の高さ・速さにとても驚いていました。東京オリンピック2020で使用された表彰台も展示されており、疑似表彰式をすることもできました。卓球の練習場では、様々な色の卓球台があり、パリオリンピックに向けた仕様の台も見ることができました。そして、ライフル射撃の銃弾の入っていない銃器をもつこともできました。



東京は、雨予想でしたが、雨が降ることはあまりなく、天候にも恵まれました。

この春から、参加した子供たちは中学生になります。今回の貴重な経験を活かし、今後のアスリートとしての成長、また人間としての成長を期待したいと思います。

